様式３(2020.06改)

作成日　令和4年12月23日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375700826
事業所名	グループホーム　若宮

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	コロナ禍で、地域行事のほとんどが中止となる状況は続いている。しかし、地域の山車祭り等、いよいよ再開の声も聞かれ、今後が期待される。現在は近隣の散歩程度が精一杯だが、利用者が元気に活動する姿を見ていただきながら、交流再開を待っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	2ヶ月毎に会議を開催している。地域の3ホーム合同で、にぎやかに会議を運営している。コロナ禍での感染状況を鑑み、状況によっては止む無く開催中止のご案内をもって議事録に代えている。この1年では、2回が会議中止になっている。身体拘束適正化委員会を同時開催する等、熱心に取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	運営推進会議には、町の担当者と地域包括支援センターが参加し、ホームの実情理解を進め、適切な助言や提案をもらい、ホーム運営に反映させている。また、町の担当部署とは、ホーム運営に係る相談・報告を通じて、適切に連携している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	運営推進会議参加、面会時、電話連絡時等に直接意見を表出する機会を設け、忌憚のない意見聴取に努めている。聞き取った内容には真摯に対応し、ホーム運営の改善に活かすように努めている。今年度も特段の意見もなく、良好な関係を継続している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、対面での会議を開催している。この1年では、6回のうち2回が中止となっている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								